

# メカトロニクス京都2026

## 次世代技術に挑め

中東情勢を筆頭に世界は不透明な状態が続く。人手不足が顕在化する中で、自動化や省人化の設備投資ニーズは底堅く、企業は新たな事業開拓の取り組みを進める。京都のメカトロニクス業界でもAI（人工知能）技術の活用や、ヒューマノイドロボットの進化に対応した動きも目立つ。次世代技術に挑み、成長を図る意欲は強い。

### AI活用進む

AI（人工知能）技術3年から利用を開始し、術を社内業務や製開した。社内業務で活用発に生かす取り組みが、25年度には年間8加速している。京都の000万円の外部委託メカトロニクス業界も、コスト削減のほか、発多くの企業がAIを使い、削減など大きな成果が顕著に現れている。

島津製作所は、知財 出た。また、新人社員関連業務に生成AIをも配属直後から一定の活用するため、知財業務水準で知財業務に務自動化プラットフォーム「従事できるなどの効果」を「Genzo AI」もあつた。

「Genzo AI」を開発し、2022 知財業務に携わる現



Genzo AIの画面イメージ

### ヒューマノイドロボに注目



ヒューマノイド「SEIMI」

### 知財関連業務で大きな成果

場から生まれた自動化プラットフォームのため、多くの企業に注目され「社内だけでなく、外販に乗り出した。I P Agent（東京 都新宿区）と共同で知財関連業務の自動化プラットフォームを開発し、提供している。Genzo AIを4月に設立。SaaS（ソフトウェア・アス・ア・サービス）形式で提供を始めた。同社の川村亮太社長は「日本の知財力を底上げするインフラになりたい」と意気込む。

スーパードのバックヤードでAIを使った製品を提供するのはイシダ。テイスカウントストアを運営するイオンビッグ（名古屋市中村区）とAI画像識別技術を使った食品ラベル

### 食品ラベル 貼り間違い防止

の貼り間違い防止システムを共同開発した。自動で商品重量を計量して包装、値付けをする自動計量包装付機「WMAI-LX」にAI画像識別技術を搭載した自動計量包装付機の内蔵カメラで商品重量を撮影した後、AIが商品情報と商品が一致しているかを判定。異なる場合はラベル発行を止める。システムの販売や、標準でAIを搭載した自動計量包装付機の販売は6月末日を計画している。

スーパードは、多種多様な商品を手で計量しており、見た目が似た商品へのラベルの貼り間違いが課題だった。AIシステムにより、貼り間違い防止と作業員の負担軽減につなげる。



イシダとイオンビッグが共同開発したAIシステムを導入。イオンビッグ畜産部門での作業

### 新拠点相次ぐ

2026年は新拠点の開設も相次ぐ。製本関連機器を手がけるホリゾン（京都府宇治市）は、建設している新本社（京都市南区）が秋頃に完成する。

新工場は同じ二テックグループで工作機械メーカーの二テックマシナリー敷地内で稼働し、調達面や人材面などの相乗効果を見込む。二テック機械事業本部の二井谷春彦共同経営責任者は「市場変化が激しい中で互いのリソースをシェアしたい」と強調する。

二テックドラフトテクノロジの滋賀県栗東市の新工場。人材獲得につなげ、分散していた拠点を集約することでコミュニケーションをより強化し、モノづくり力を高める。新本社には開発施設も設置。展示場としても活用する。

二テックドラフトテクノロジは、主にコネクタやモーターコアの加工用プレス機を生産する新工場を滋賀県栗東市に建設し、稼働している。



### 人材獲得などモノづくり力向上

EI（セイメイ）を開発した。同検査機は企画や、構成部品などを含む開発を国内で行った。全長約140センチ、重量は49キログラム。動力は低コストにしたが、今後の技術実証や社会実装のためのロボットにする。

EI（セイメイ）を開発した。同検査機は企画や、構成部品などを含む開発を国内で行った。全長約140センチ、重量は49キログラム。動力は低コストにしたが、今後の技術実証や社会実装のためのロボットにする。

EI（セイメイ）を開発した。同検査機は企画や、構成部品などを含む開発を国内で行った。全長約140センチ、重量は49キログラム。動力は低コストにしたが、今後の技術実証や社会実装のためのロボットにする。

### 世界市場、拡大の見通し

労働力不足やAI（人工知能）技術の発展などからヒューマノイド（ヒト型）ロボットが世界的に注目されている。軍事経済による、ヒューマノイドロボットの世界市場は、2035年には25年比で50倍になるとの見通しを示している。

京都の企業・団体もヒューマノイドロボットなどの拡大の流れを捉え、製品開発などに力を入れている。

テムザックや村田製作所、ロームなどが参画する国産ヒューマノイドロボットの開発を目指す『京都ヒューマノイドアソシエーション（Kyoha）』はヒューマノイドロボットの検証機「SEIMI

### 京都企業も開発に力

EI（セイメイ）を開発した。同検査機は企画や、構成部品などを含む開発を国内で行った。全長約140センチ、重量は49キログラム。動力は低コストにしたが、今後の技術実証や社会実装のためのロボットにする。

EI（セイメイ）を開発した。同検査機は企画や、構成部品などを含む開発を国内で行った。全長約140センチ、重量は49キログラム。動力は低コストにしたが、今後の技術実証や社会実装のためのロボットにする。

EI（セイメイ）を開発した。同検査機は企画や、構成部品などを含む開発を国内で行った。全長約140センチ、重量は49キログラム。動力は低コストにしたが、今後の技術実証や社会実装のためのロボットにする。

回せ、時代を。  
動かせ、世界を。

**Kashifuji**  
Since 1913

最先端の歯車加工技術を京都から

**OUR GEARS DRIVE THE WORLD INTO THE FUTURE**

**Horizon**  
Change the focus

株式会社ホリゾンは創業80周年を迎えました。

磨き上げたものづくりの精度を武器に、  
視点を変えることで、既存概念を塗り替える。  
常に変化を先取りし、可能性を広げ続けるために  
私たちは誰よりも自由にチャレンジしていきます。

80年は、通過点。  
積み上げた歴史をエネルギーに変えて、  
ホリゾンは今、その向こう側へ。

80th ANNIVERSARY

# 軽く 小さく エコに。 設計が広がる 現場が変わる。

革新的エアチャック「ウルトラフォース」。  
従来品と比べ、把持力はそのままに。  
1/3の軽量化、1/2のエア消費量削減、そして大幅な小型化を実現。  
設計と運用に、さらなる自由を。

**軽量化**  
1/3

**省エネ**  
1/2

**小型化**  
SLIM

**生産性**  
UP

軽量化でプレ抑制!  
タクトタイム短縮!

詳しくはこちら





**NKE株式会社**  
Humanized Automation

〒612-8487 京都市伏見区羽東師菱川町366-1  
フリーダイヤル 0120-51-5651

## 誘導発熱ジャケットロール JACKET ROLL®

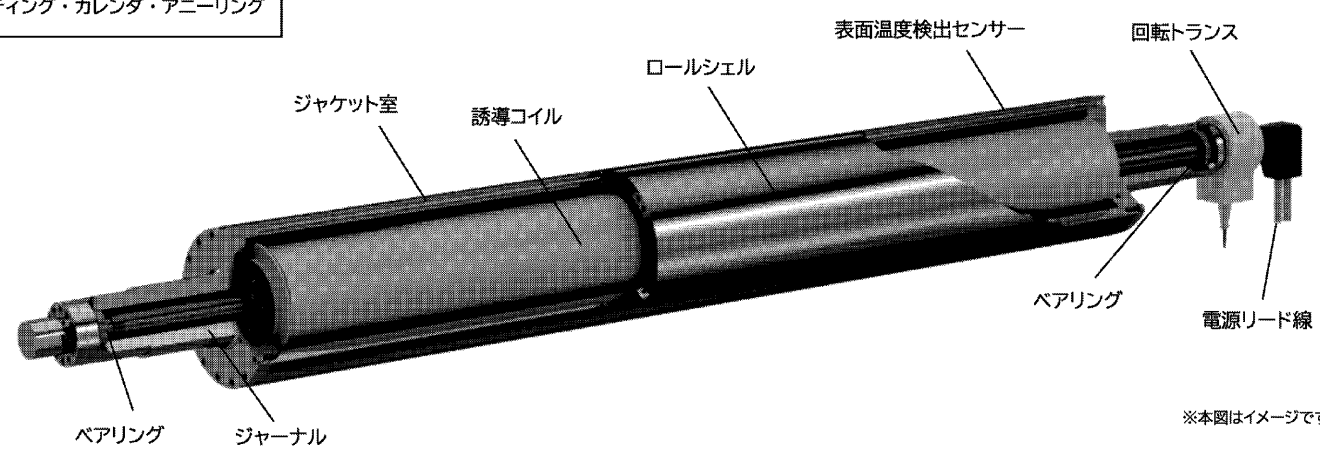
TOKUDEN®

### 生産工程の脱炭素、 環境負荷低減を実現します

最大 **60%**  
省エネ

※他方式ロールと比較した一例による

**主な用途例**  
ラミネート・熱延伸・ヒートセット・  
コーティング・カレンダー・アニーリング



- 電磁誘導加熱式で  
環境に優しく高効率・省エネ
- 均一な表面温度分布で  
安定した加工品質
- お客様のご要望に合わせた  
幅広い温度域を実現

トクデン株式会社 <https://www.tokuden.com>

京都営業課 〒607-8345 京都市山科区西野藤宮町40番地 TEL (075)581-5691  
関東営業所 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2丁目7-1(新横浜プラントビル4階) TEL (045)475-5120

### NKE社長 中村 道一氏



**一体化組織で受注強化**

「現在の経営環境をどう見ているんですか。」  
「中東情勢の悪化が長引く、一部部材の調達難や原材料高の影響を受けている。こうした時に、受注活動を強化しようとしている。4月に、従来の営業や技術、生産管理などの組織を、一体化した。多くの部署がワンフロアに集まり、情報連携を密に活動を図る。」  
「商品戦略を強化して、新商品開発は当社の生命線。25年に投入が期待できる。」

### カシフジ社長 樫藤 達郎氏



**増収傾向も原料高課題**

「簡単な加工をするホブ盤などを手がけています。足元の事業環境は、「足元は活況な受注があり、増収傾向だが、原材料などの値上げが課題。」  
「国内の事業環境はどうか。」  
「国内の事業環境は、好調なものの、品質を維持しながら製造するのに苦労しています。この需要もどこまで続くか予想が難しいことに加え、中東情勢の影響も今後出てくるのではと懸念しています。」  
「開発期間の短縮や省人化などを狙い、設計や開発で取り入れている。」  
「まだ使い始めたところで、成果はこれからだが、期待している。」

### ホリゾン社長 堀 英陽氏



**新規事業さらに伸ばす**

「紙折機などの製本関連機器が主力です。足元の事業環境は、「海外では中南米や北米、アジア、欧州で需要があり、大手有力な印刷と感している。」  
「事業の柱を伸ばすため、新規事業にも力を入れています。」  
「新規事業の1つとして、他の社部品加工や周年を迎えました。事業を継続できた理由や今後の意気込みは。」  
「電気設備の試作・修理で創業し、1973年から製本関連機器の総合メーカーとして事業を拡大してきた。印刷・製本業界のお客さまのニーズを聞き、市場に求められるモノづくりをしてきたことが事業を継続できた理由だ。今後も新しい事業の柱を構築しつつ、印刷や製本分野の産業をより発展させていくための手直しをしていく。」

### イシダ社長 石田 隆英氏



**省人化への貢献続ける**

「2025年度の振り返り。増益の見込みだ。無人化への貢献を。」  
「25年度は単体売上高が前期比8.7%増の約1366億円、連結は売上高1900億円増収。人手不足対策として好調だった。」  
「26年度に力を入れること。」  
「引き続き省人化に貢献する。」

メカトロニクス京都2026 次世代技術に挑め



1972年、世界で初めて「組み合わせ」計量機を発明。当時の計量の概念を変える発想は世界を驚かせ、現在の世界標準となっています。

私たちイシダグループは、世界中のお客様の課題を革新的に解決し、安全・安心で豊かな社会の創造に貢献します。

はかりしれない技術を、世界へ。

**ISHIDA**

株式会社イシダ 本社 京都市左京区聖護院山王町44 〒606-8392 TEL 075-771-4141



**一環境に配慮した洗浄装置**

**【洗浄機の特徴】**

- 食品添加物の重曹をメディアした洗浄装置
- 対象物にダメージを与えることなく洗浄効果が得られる
- 短時間で洗浄が可能
- どこにでも持ち運び洗浄ができる

**SOBIJET**

YouTubeチャンネル開設 塗装剥離 錆落とし

洗浄機の詳細及び洗浄デモのご要望は弊社営業部までお問い合わせ下さい

株式会社日本ジョイント 〒613-0022 京都府久世郡久御山町市田北浦55  
TEL: 0774-23-3211 FAX: 0774-24-0655  
URL: <https://www.nippon-joint.co.jp/>

